

027

『紫式部日記』を楽しく読む

『源氏物語』執筆の背景を考える

講座内容

千年前、源氏物語の作者・紫式部は、自ら日記文学を書き残しています。『紫式部日記』です。日記に登場する人物は、紫式部、藤原道長、彰子、倫子、一条天皇、清少納言など、王朝時代の立役者がそろっています。有名な清少納言に対する批評(悪口?)も、この日記ならではのものでしょう。しかも『紫式部日記』の中には『源氏物語』の執筆に関する記事がいくつかあり、大変に興味深いのです。皆さまと一緒に『紫式部日記』(現代語訳付き)を楽しく読み進んでいきましょう。

期 間	10月22日～12月10日	受講料	7,500円
曜 日	火曜日	定 員	20名
時 間	13:00～14:30	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全3回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が毎回レジュメやプリントを用意します。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	10月22日(火)	『紫式部日記』入門 紫式部の生い立ち。結婚。出産。女房生活。『源氏物語』執筆。
2	11月26日(火)	藤原道長の登場 寛弘5年の秋、道長の邸・土御門邸の情景は、いいようのない程の素晴らしさでした。
3	12月10日(火)	彰子の出産 - ① 中宮彰子の出産にあたり、大勢の僧侶が加持祈祷に奉仕します。

講師紹介



宇留田 初実(うるた はつみ)

聖徳大学兼任講師

青山学院大学大学院日本語・日本文学専攻、博士課程単位取得満期退学。専門分野は日本文学(平安時代)、幼児言語学、国語教育。詩人(2003年コスモス文学新人賞受賞)。著書に「情報と表現 一日本語の表現と技法」(共著 双文社出版)2016年。